

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

小松島みなとオアシス防災訓練

平成22年10月10日、船舶奉仕団による海上物資輸送訓練や小松島地区赤十字奉仕団による炊き出し訓練、地元民生委員や登録ボランティアによる要援護者安否確認訓練などが、小松島みなとオアシスにて行われました。設立したばかりの「小松島みなとまちづくり協議会」の主催で、関係機関、地域住民、地元高校生やボランティアグループなど約100名の協力で進められました。

平成21年度に行った「みなとオアシスの高度化による災害応急対応の補完に関する調査」（詳細はp3参照）をもとに、全国的にもまだ例の少ない“みなとオアシス”での防災訓練を試みました。

被災者に対する水の配給や食事の提供を想定して、小型船舶で海上輸送された救援物資をピジター桟橋から陸揚げし、周辺緑地や駐車場等のオープンスペースにて炊き出し訓練を実施。併せて、要援護者を実際に訪問して安否を確認する訓練や、AED(自動体外式除細動器)講習会の実施、建物の耐震診断の紹介や津波災害に関するパネル展示を行い、地震災害に対する市民への啓蒙活動を行いました。

今回の訓練により、小型船舶を利用した救援物資輸送や炊き出し等による支援・協働が、水道・電気の途絶えた地域の救援活動に有効であること、また、みなとオアシスとその周辺施設が有効な災害対応の地域資源であることを確認しました。今後、各地で“みなとオアシス”の付加価値が高められ、地域振興のみでなく、防災面でも地域に貢献できるものと思われま



訓練イメージ



開会式

INDEX

- 小松島みなとオアシス防災訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 各種訓練の紹介・・ 2
- 訓練成果と主要な意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 各地で行われている自主防災訓練情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4